

佐藤 陽香
総務経理部松本 雄大
工事部

工事進捗会議

電建では、工事の品質向上と業務効率化を目的に、定期的に工事進捗会議を実施しています。

会議には工事部の管理担当、施工担当、事務担当が集まり、進行中の各工事タスクを一つひとつ確認します。お客様からいただいた要望や注意事項、現場での進捗状況を共有することで、情報の行き違いや抜け漏れを防いでいます。また、会議で整理した内容をもとに、参加メンバー以外の社員にも業務を割り振り、分業体制を構築しています。工事内容を全体で把握することで、個々の理解が深まり、業務全体の底上げにつながって、さらに、コミュニケーションも増え、各自の業務の幅が広がることで、各自の成長にもなっています。

いや、会議で整理した内容をもとに、参加メンバー以外の社員にも業務を割り振り、分業体制を構築しています。工事内容を全体で把握することで、個々の理解が深まり、業務全体の底上げにつながって、さらに、コミュニケーションも増え、各自の業務の幅が広がることで、各自の成長にもなっています。



電気工事士奮闘記

國重 幸太郎
工事部

ブレーカーの役割と更新の目安

ブレーカーの更新目安は、一般的に10

～15年とされています。

ブレーカーは、定められた値を超える電流が流れた際に電気を遮断し、過電流による火災や設備故障を防ぐ、重要な保護機器です。いわば、異常時に自動で電源を遮断し、安全を確保するためのスイッチの役割を担っています。

しかし、経年劣化が進むと動作不良を起こし、本来遮断すべき場面で作動しない、または手動での入・切操作ができないくなるといった不具合が発生することがあります。

このような状態では、停電時に速かに復旧できなかつたり、必要な設備に電気を供給できなくなるなど、業務や日常生活に支障をきたす恐れがあります。

こうしたリスクを未然に防ぐためにも、ブレーカーは計画的な更新を行うことが重要です。

今月の
ちょっと一言佐藤 陽香
総務経理部

未来会議（月次報告会議）

電建では毎月、社員全員で「未来会議」と称した月次報告会議を実施しています。

先月の決算数値はもちろん、各アクションプランの進捗状況、前月にいただいたお客様からのアンケート内容の共有まで、幅広いジャンルについて時間をかけて議論を行います。

私が入社してから早8年になりますが、年々内容が充実し、より深掘りができるいると実感しています。経理担当の立場から見ると、一般経費の内訳を公開し、各部でどのような経費が発生しているのか、消耗品の内訳は何か、今月利益が出ていない原因はどこにあるのか等、一つ一つの項目を掘り下げて分析することが非常に学びとなります。

会計講座で学んだことをより活かせるよう、今後も改良を進めて参ります。



笑顔盛り

中島 依里
総務経理部

足るを知る

弊社が毎月開催している未来道場（心

を高める勉強会）にて、表題の言葉がとて

も印象に残りました。

簡単に言うと、過度な欲を持たず、いま与えられている環境や状況に感謝して生きる、という意味です。忙しい日々の中でもつい忘れてしまいがちですが、この言葉に触れ、改めて「すでに自分は多くのものに恵まれているのだ」と気づかされました。

自分の祖先を25代遡ると、なんと安土桃山時代にまでなるそうです。人数になると3,355万4,432人。この膨大な数字のうち、誰か一人でも欠けていたら、今自分が生まれていません。そう考えると、自分が今日ここに生きているということに恵まれているのだ」と気づかされました。

こうして命のつながりを感じながら、現状に感謝し、2026年もより一層邁進してまいります。

今年も電建をよろしくお願いいたします！

お仕事体験フェスティバル
in 電建ブース先日施工した空調工事の一部風景です。
しっかりと養生してご対応いたします。